

情報ニーズと図書館

～図書館とまちの 賑やかな関係～

令和5年7月11日（火）2023年度中堅職員ステップアップ研修（2）
鳥取県立図書館 支援協力課長 高橋真太郎
日本図書館協会 認定司書番号 1086

自己紹介

- ・香川県出身
- ・平成15年3月 図書館情報大学・卒業
- ・平成15年4月～香川県立図書館
- ・平成16年5月～鳥取県立鳥取湖陵高校図書館
- ・平成18年4月～鳥取県立図書館
- ・令和3年4月～境港市民図書館
- ・令和5年4月～鳥取県立図書館

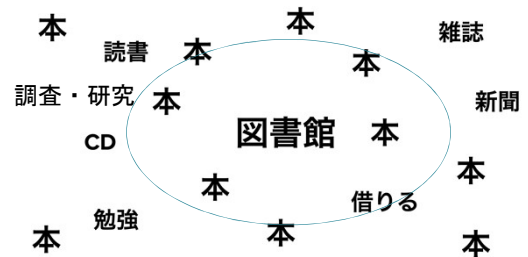
情報ニーズを どうつかむのか

- ・ニーズの受皿を再定義する必要
- ・個から見る社会のニーズ
- ・協働こそがニーズをつかむもっとも大切な時間

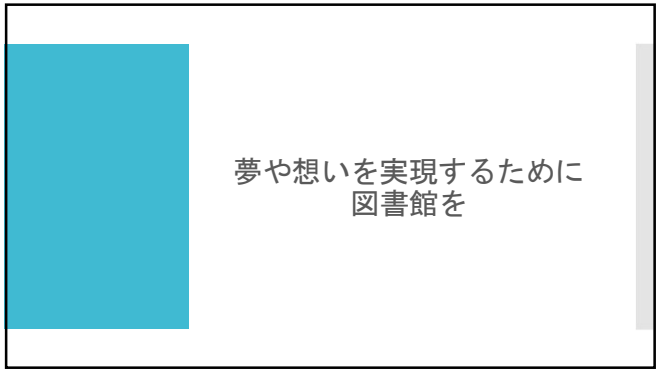
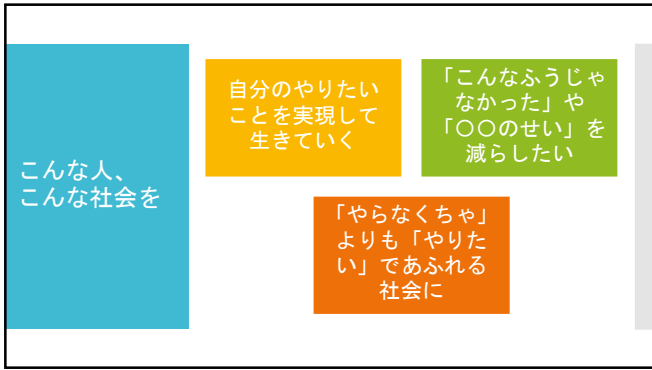
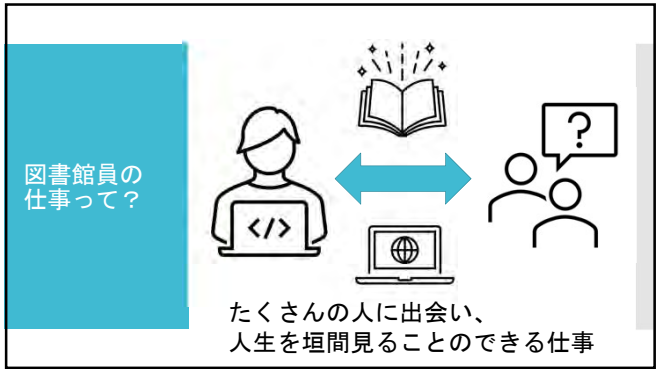
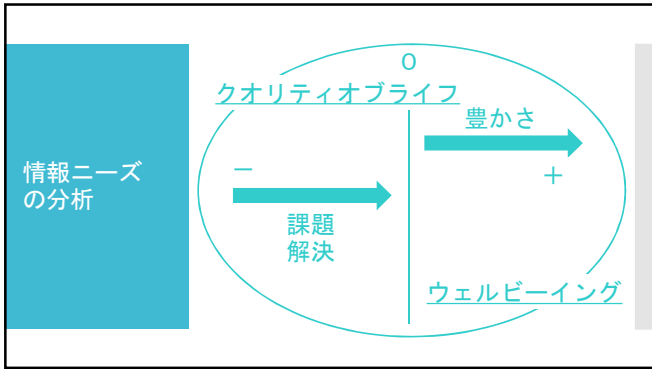
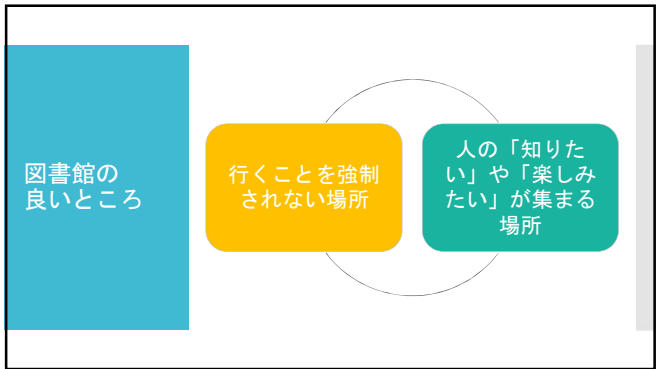
変わる 図書館の存在意義

社会の変化に 敏感にありたい

- ・新型コロナウイルス
- ・ChatGPT・GIGAスクール
- ・LGBTQ
- ・少子高齢化
- ・ウクライナ情勢
- ・気候変動・温暖化
- ・物価の上昇



★多くの人が持つ図書館のイメージ★



サイダーについて調べたい



伝統菓子を復活させたい



ひまわりオイルを製造したい



私的なことにこそ貢献を

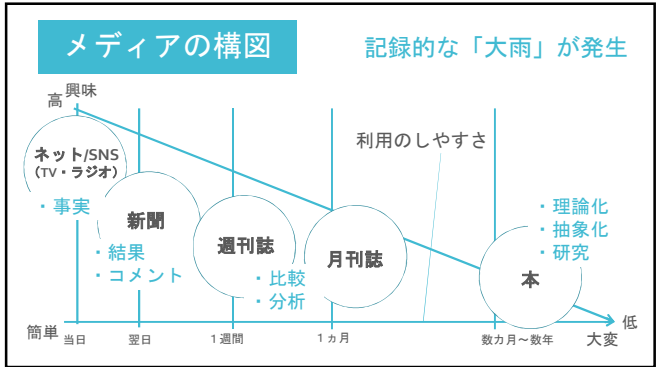
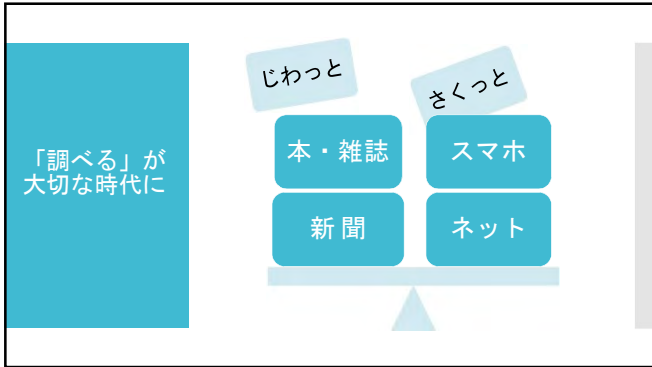
- ・認知症の家族にどう対応したらよいの？
- ・社会の授業をもっと分かりやすくするために図書館の本を借りに来た。
- ・無農薬の家庭菜園をはじめたい。
- ・家族に絵本を借りて帰りたい。
- ・菌やウイルスの図鑑をたくさん借りたい。
- ・大好きなSFを満喫したい。

図書館員の

“自己肯定感”を高めて、
そこで感じるニーズを信じよう。

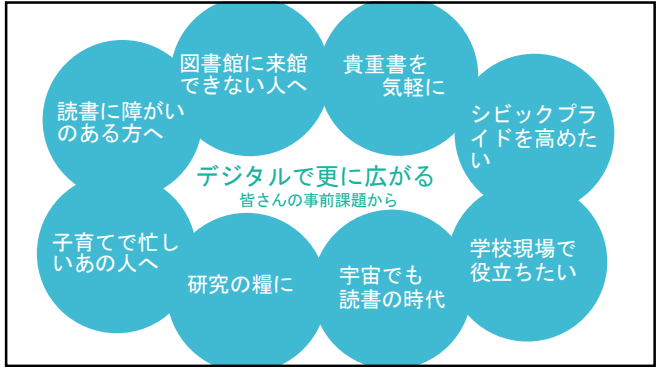
紙とデジタル

二者択一ではなく、
軽やかに行ったり来たり



こんな時に「本」(図書館)を思い出してほしい

- ・自分の大切なものと向き合う時
- ・自分の将来を決断する時
- ・誰かを応援したい時



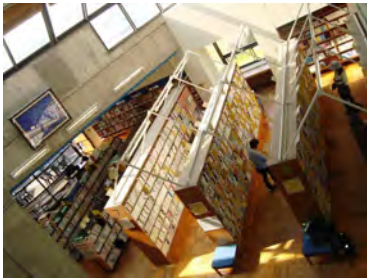
「本は嫌いだから」はもったいない

「図書館」か？

人生の分かれ目は高校一年生の「夏」

「アスパラガス」か？

香川県
坂出市立大橋
記念図書館



「場」として
の図書館の
可能性

- ・安心・安全な場所であるために図書館が努力して来た歴史
- ・家庭・職場・学校に次ぐ第3の居場所（サード・プレイス）
- ・誰でも、無料で利用できて、何もなくてもいい場所はそうそうない

サードプレイス
とは？

- ・アメリカの社会学者レイ・オルデンバーグ氏が提唱した考え方
- ・家庭（第1の居場所）
職場・学校（第2の居場所）に次ぐ、
第3の居場所があれば人生はもっと
豊かなものになる。

【参考】『サードプレイス コミュニティの核になる「とびきり居心地よい場所」』（レイ・オルデンバーグ著、みすず書房、2013.10）

サードプレイス
の8つの
特徴

■繋がる大切さ

- ・自由に入りができ、全員がくつろいで居心地よいと感じられる。
- ・地位や身分にかかわらず、当人の人柄の魅力こそが大切にされる。
- ・おしゃべりが活発で、機知に富み、華やかで、魅力的であること。
- ・身近な場所にあり、利用しやすいこと。
- ・常連さんがにぎやかな雰囲気を作り、新顔も受け入れる。
- ・飾り気がなく、見栄を張らなくてもよい。
- ・遊び心に満ちた雰囲気を持っている。
- ・もう一つのわが家のような。

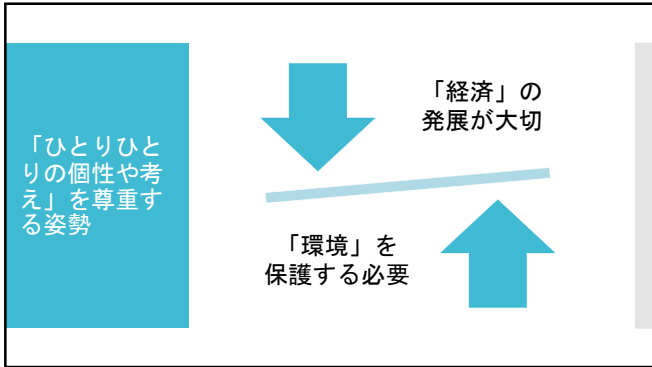
【参考】『サードプレイス コミュニティの核になる「とびきり居心地よい場所」』（レイ・オルデンバーグ著、みすず書房、2013.10）をもとに作成。

■繋がらない大切さも

- ・土曜・日曜・放課後も開館しています。
- ・冷房や暖房も効いています。
- ・Wi-Fiのある図書館が増えています。
- ・静かにゆっくりできます。
- ・図書館に入るために申し込みはいりません。
- ・誰でも使える資料があります。
- ・気軽に相談できる職員がいます。
- ・誰でも無料で使えます。



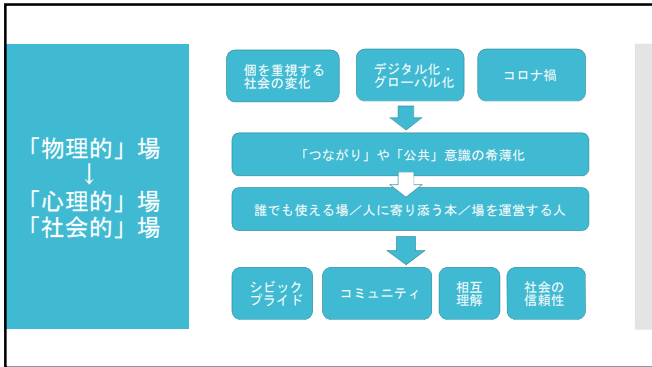
どうして図書館は
安心できるの？



本は味方になってくれる

世界
日本
友人
家族
アフリカの食料問題に貢献したい

① 『アフリカを創る』 (光文社)
② 『わたらの小さな精米所が救うアジア・アフリカの米づくり』 (農山漁村文化協会)
③ 『マッキンゼーが読み解く食と農の未来』 (日本経済新聞出版)
④ 『地図とデータで見る水の世界ハンドブック』 (原書房)



まちと図書館の賑やかな関係

境港市市民図書館の活動を例に

経験や体験の場

知ることは、対象に愛着を持つこと、正しく理解すること

社会と繋がる場所

インプットからアウトプットもできる場に、そして交流の場へ

まちに染み出す 図書館の活動

館外でのコミュニケーションこそが重要

社会的共通 資本の考え方

・鳥取県出身の経済学者 宇沢弘文氏

一人一人の市民が、人間的尊厳を保ち、市民的自由を最大限に享受できるような社会を安定的に維持するために必要不可欠なものである。人間が人間らしい生活を営むために、重要な役割を果たすもので、決して、市場的基準によって支配されてはならないし、また、官僚的基準によって管理されてはならない。

『社会的共通資本』（宇沢弘文／著、岩波書店、2000）p.6～

ご清聴
ありがとう
ございました。

・鳥取県立図書館

〒680-0017 鳥取県鳥取市尚徳町101

電話：0857-26-8155

ファクシミリ：0857-22-2996

ホームページ： <https://www.library.pref.tottori.jp/>